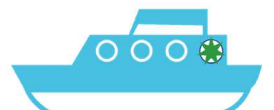


令和8年10月8日

青森市保健部青森市保健所生活衛生課長

食中毒の発生について

市内で食中毒が発生したので別添資料のとおりお知らせします。



【問合せ】 青森市保健部青森市保健所生活衛生課 担当：課長 倉内、主幹 横山

TEL：017-765-5284 FAX：017-765-5283

食中毒の発生について

1 概要

- (1) 令和 8 年 1 0 月 6 日 (火) 午後 9 時 4 0 分頃、市内医療機関から市保健所に、「救急外来を受診した患者に、毒キノコによる食中毒の疑いがある」旨の連絡があった。
- (2) 調査の結果、発症者は 1 0 月 4 日 (日) に自ら採取した野生のキノコと、1 0 月 6 日 (火) に知り合いからもらった野生のキノコを、1 0 月 6 日 (火) に自宅で調理・喫食し、嘔気、嘔吐を呈していたことが判明した。
- (3) 市保健所は次のことから、本件はツキヨタケの誤食による食中毒と断定した。
 - ① 発症者を診察した医師が食中毒と診断していること
 - ② 発症者が発症前に野生のキノコを調理して食べたと話していたこと
 - ③ 発症者の自宅にあったキノコを青森県きのこ会の協力のもと鑑定した結果、毒キノコであるツキヨタケが含まれていたこと
 - ④ 発症者の臨床症状がツキヨタケによる食中毒症状と一致すること

2 発生日 令和 8 年 1 0 月 6 日 (火)

3 喫食者数 2 名

4 発症者数 1 名 (6 0 歳代女性)

5 主な症状 嘔気、嘔吐

6 原因施設 家庭

7 原因食品 ツキヨタケ

8 病因物質 植物性自然毒

【参考】

＜本市での食中毒発生状況＞（本件を含む。）

	発生件数	患者数
令和 8 年 1 月～1 0 月 8 日	3 件	9 名
令和 7 年 1 月～1 2 月	2 件	3 0 名
令和 6 年 1 月～1 2 月	1 件	1 3 名

＜本市でのキノコによる食中毒発生状況＞（本件を含む。）

年	発生日	種類	患者数
平成 1 9 年	9 月 1 9 日	クサウラベニタケ	1 名
平成 2 0 年	1 0 月 4 日	カヤタケ属キノコ	3 名
平成 2 2 年	1 0 月 1 1 日	ツキヨタケ	2 名
	1 0 月 1 1 日	ツキヨタケ	5 名
令和 8 年	9 月 1 6 日	イボテングタケ	1 名
	1 0 月 6 日	ツキヨタケ	1 名

＜ツキヨタケとは＞

- ・ひだは暗闇で青白く発光します。柄の基部の肉に黒紫色のしみがあるのが特徴ですが、まれに淡褐色のものもあります。しみが不明瞭なものもあり、ヒラタケやウスヒラタケ、ムキタケなどの食用きのこに間違われることがあります。
- ・ツキヨタケの食中毒症状は、嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状で、食後 30 分～1 時間程度で発症します。

＜市民への呼びかけをお願いします＞

毒キノコによる食中毒の発生を防止するため、以下のことに注意してください。

- ◎食用と確実に判断できないキノコは、『採らない』、『食べない』、『人にあげない』、『販売しない』こと。
- ◎キノコの鑑定には専門的な知識が必要です。キノコに詳しい方でも判断を間違えるおそれがありますので十分に注意すること。
- ◎毎年、同じ時期に同じ場所に生えていても、食用に類似した毒キノコが混生していることがあるので十分注意すること。
- ◎見分け等に関する言い伝えは、根拠はないので信用しないこと。